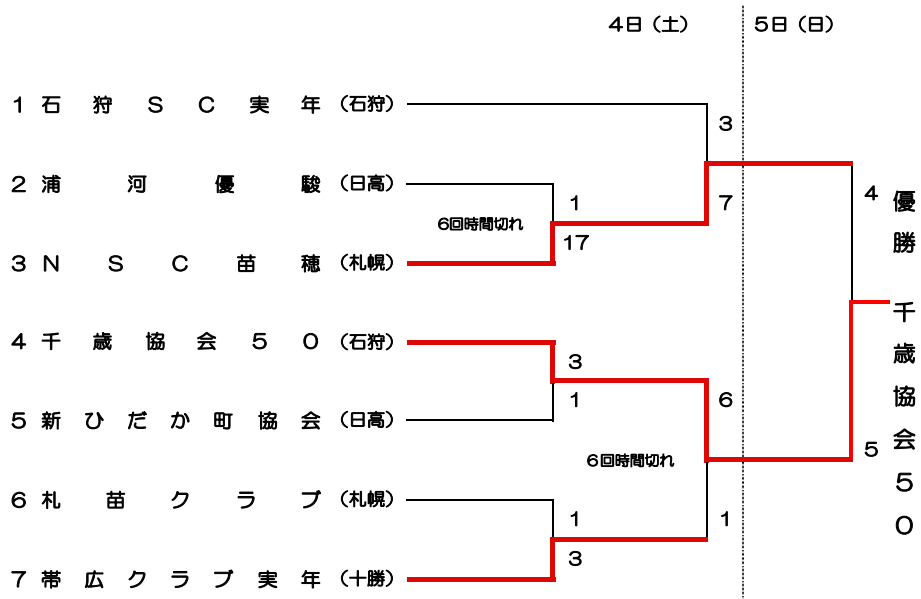


第21回 全日本実年ソフトボール大会 北海道予選会

期 日 平成24年8月4日(土)・5日(日)

会 場 静内川左岸緑地公園ソフトボール球場
(新ひだか町真歌42-5地先)



問合せ先： 北海道ソフトボール協会記録副委員長 木之内 和子 090-5983-6816

【記録4号】

第21回 全日本実年ソフトボール大会 北海道予選会

2012/8/4～5 静内川左岸緑地公園ソフトボール球場
(新ひだか町真歌42-5地先)

1回戦 【試合開始】 12時25分 【試合終了】 13時55分 【中断時間】 【試合時間】 1時間30分 No1
審判員 球審 松田 彬 一塁 向井 良吉 二塁 山下 匡臣 三塁 佐藤 健男
記録員 外山由香 放送 石崎由紀

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
清 河 優 敏 (日 高)	0	0	0	0	0	1					6回時間切れ				1
N S C 苗 穂 (札 樺)	0	1	7	4	3	2x									17

(バッテリー) 先攻 (投) ●保土沢良三 後攻 (捕) 松本俊治
 [勝○、負●] 後攻 (投) ○石黒紀夫、森川 敏 後攻 (捕) 市橋 正
 先攻 (本塁打) 秋山哲也 (三塁打) ---
 (優打) 後攻 (本塁打) 秋山哲也 (三塁打) 上原千明、後藤政幸、菅崎昭治
 後攻 (本塁打) 石田 泡 (三塁打) 上原千明
 後攻 (二塁打) 上原千明

試合速報：NSC苗穂は、猛打炸裂し大差点を挙げ勝利する。
 NSC苗穂は、3回裏先頭打者「石黒」から3連打し「上原」三塁打を打つてこの回6打者の猛攻によって7点を挙げ主導権を握った。後半の4・5・6回には、全員安打を放ち9点を加点して完勝とした。対して清河優敏は、4番「秋山」が開幕戦時自らのランニング本塁打で一失を犯した。

1回戦 【試合開始】 10時33分 【試合終了】 11時53分 【中断時間】 【試合時間】 1時間20分 No2
審判員 球審 白川 修 一塁 鈴木 義昭 二塁 佐藤 健男 三塁 久保 好二
記録員 石谷早予子 放送 石崎由紀

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
新 ひ だ か 町 協 会 (日 高)	0	0	0	0	0	0	1								1
千 歳 協 会 5 0 (石 狩)	1	0	0	1	1	0	x								3

(バッテリー) 先攻 (投) ●渡辺晋代治 後攻 (捕) 菅沼太吉
 [勝○、負●] 後攻 (投) ○浜瀬真志、勝目謙海 後攻 (捕) 高橋勝之
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (優打) 後攻 (二塁打) 伊藤祐二 (三塁打) ---
 後攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 後攻 (二塁打) 山崎昌則、市川幸美

試合速報：地元新ひだか町協会は、初戦突破を惜しくも逃がす。
 千歳協会50は、1番「真嶋」四球出塁し二塁、バント・犠飛で先制点を奪い3回まで優勢は変わらず。迎えた4回裏一死5番「山崎」二塁打出塁「市川」タイムリー跳越し点を挙げ、5回裏は安打1本で得点を抱い試合を決め準決勝に進む。一方地元の新ひだか町協会は、1回裏1番「高村」死球出塁し安打で二進したが、後続が絶たれ好機を失った。2・4回併殺を喫する不運があり試合が進み、7回裏無死5番「西村」安打出塁、8番「伊藤」二塁打により1点を取り完封を免れた。

1回戦 【試合開始】 10時32分 【試合終了】 12時05分 【中断時間】 【試合時間】 1時間33分 No3
審判員 球審 栗出 勝則 一塁 門脇 文雄 二塁 菅島 一吉 三塁 高井 利夫
記録員 小川真宏 放送 鈴木敦子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
札 苗 ク ラ ブ (札 樺)	0	0	0	0	0	0	1								1
帯 広 ク ラ ブ 実 年 (十 勝)	0	0	3	0	0	0	x								3

(バッテリー) 先攻 (投) ●元木俊一 後攻 (捕) 小林秀俊
 [勝○、負●] 後攻 (投) ○中川弘盛 後攻 (捕) 高橋勝博
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (優打) 後攻 (二塁打) 高橋勝之 (三塁打) 鈴木俊一
 後攻 (本塁打) --- (三塁打) 鈴木俊一
 後攻 (二塁打) 姉崎純一

試合速報：帯広クラブ実年は、「姉崎」二塁打契機に得点勝利を呼び準決勝に進む。
 帯広クラブ実年は、3回裏先頭打者7番「姉崎」左前二塁打で出塁、バント安打三連・スライズと手堅く1点目を取り、打順1番に裏の連打して2点を加点。この回だけの貴重な得点を守りきって準決勝へと進んだ。札苗クラブは、1回表1番「高橋勝之」初球を左中間二塁打し塁上にたつたが、突然足の故障を訴え「伊藤」代走となった。以後「中川」投手に6回まで4安打と抑えられていた、7回裏「荒川」先頭打者出塁を「小林」タイムリーで迎え入れ1点とした。

【記録4号】

第21回 全日本実年ソフトボール大会 北海道予選会

2012/8/4～5 静内川左岸緑地公園ソフトボール球場
(新ひだか町真歌42-5地先)

準決勝 【試合開始】 14時22分 【試合終了】 15時45分 【中断時間】 【試合時間】 1時間23分 No.4
審判員 球審 笠井 孝美 一塁 東出 勝則 二塁 久保 好二 三塁 鈴木 義昭
記録員 石谷早予子 放送 上田真弓

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
石 狩 S C 実 年 (石 狩)	0	0	0	0	0	0	3								3
N S C 苗 穂 (札幌)	0	0	0	3	4	0	x								7

(バッテリー) 先攻 (投) ●田代和行 後攻 (投) ○石黒紀夫
 (捕) 山根隆彦
 (捕) 布庭 正
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) 笠原真紀夫
 (二塁打) 勝俣 到
 後攻 (本塁打) 広瀬洋吾 (三塁打) ---
 (二塁打) ---

試合速報：NSC苗穂は、投手「石黒」好投で石狩SC実年の進塁を阻み、決勝に進む。
 NSC苗穂は、4回裏好投手「田代」から3番「広瀬」3点ランニング本塁打で均衡を破り、5回裏にも5安打4点を加えし追撃を繰り出し、決勝へと駒を進めた。かたや石狩SC実年は、「石黒」投手の前に6回まで1安打に抑えられたが、7回裏3本の長塁打で3点を返したものの無念の涙を吞んだ。

準決勝 【試合開始】 12時40分 【試合終了】 14時12分 【中断時間】 【試合時間】 1時間32分 No.5
審判員 球審 鈴木 隆男 一塁 高井 利夫 二塁 上田 孝一 三塁 門脇 文雄
記録員 佐々木包久 放送 鈴木敦子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
千 歳 協 会 5 0 (石 狩)	0	1	1	0	4	0					6回時間切れ				6
帯 広 ク ラ ブ 実 年 (十 勝)	0	0	1	0	0	0									1

(バッテリー) 先攻 (投) ○浜崎武志 後攻 (投) ●中川弘盛
 (捕) 高橋勝之
 (捕) 高橋健博
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) 市川幸美
 (二塁打) 高橋隆彦、山崎昌則
 後攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (二塁打) 遠水正吾、三輪 肇

試合速報：千歳協会50圧勝！
 千歳協会50は、2回裏「高橋勝之」の投前送球打・「高橋隆彦」中越え二塁打で先制とした。3回にも先球走者の得点で前点崖山に立った。帯広クラブ実年は、3回裏「遠水」二塁打「三輪」中前打で1点差に迫り接戦に持ち込んだ。しかし千歳協会50は、5回裏利球の乱れた「中川」投手を捕らえ、4本の長塁打で4点を奪い一気に試合を決め決勝へと進む。帯広クラブ実年は、6回裏「三輪」二塁打の好機を活かせず追加点を奪取することが出来なかった。

決 勝 【試合開始】 【試合終了】 【中断時間】 【試合時間】 No.6
審判員 球審 只野 慶樹 一塁 松田 希 二塁 門脇 文雄 三塁 東出 勝則
記録員 小川真宏 放送 鈴木敦子

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計
千 歳 協 会 5 0 (千 歳)	3	0	2	0	0	0	0								5
N S C 苗 穂 (札幌)	2	0	0	2	0	0	0								4

(バッテリー) 先攻 (投) ○浜崎武志 後攻 (投) ●石黒紀夫、森川 敬
 (捕) 高橋健博
 (捕) 布庭 正
 先攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (二塁打) 貴嶋隆裕、市川幸美、山崎昌則
 後攻 (本塁打) --- (三塁打) ---
 (二塁打) 後藤政幸

試合速報：千歳協会50は、「浜崎武志」粘投96球の勝利、優勝も奪取る。
 千歳協会50とNSC苗穂は、一回の攻防が勝利を決めた。千歳協会50の1回表、1番「貴嶋」初球二塁打出塁後連打し無死満塁のチャンスをおかす。開始直後でもあり内野抑守と安打により3点を先制した。3点を追うNSC苗穂の1回裏は、同じ様に1番「市川」安打出塁後無死満塁となり、安打・犠打バントで2点取り1点差に迫った。この後の攻防は千歳協会50が、3回裏内野抑守を利して2点加えし、NSC苗穂が、4回裏8番「後藤」タイムリー二塁打と犠投で2点挙げ対とした。千歳協会50の「浜崎」投手が1回の1点リードを安打7本を許しながら、96球を投じて勝利をもたらした優勝を勝ち取った。